

士 会 等

大隅町で建築技術講習会

浄化槽設計等を学ぶ



技術力を高めよう——と挨拶する永吉支部長
＝大隅町の大隅建設会館で

県と県建築士会共催による16年度建築技術講習会が17日、曾於郡大隅町の大隅建設会館で開かれた。約50人の出席者らは最新の建築行政の動向や浄化槽設計・施工ガイドブックの改訂、CPD

制度及び専攻建築士制度の概要等について熱心に学んだ。

冒頭、永吉正県建築士会曾於支部長は「私も技術者で忙しくても勉強すべきはして、身に付けていかなければいけないと考えます。今後ますます技術者を磨いてほしい」と挨拶。次いで、内村一

也県大隅土木事務所建築課長が高江所長の挨拶を代読した。

講習会では、内村課長が建築基準法施行状況や既存建築物の安全性確保を図るための同法改正概要や市街地の防災機能を図るための同概要、誰でもできる耐震診断等について説明。野間稔県保険福

祉部障害福祉課主査が県福祉のまちづくり条例等の改正、今辻伸好県環境保全協会事務局長が県浄化槽設計・施工ガイドブックの改訂、藤宮宏文県建築士会専務理事がCPD（継続能力開発）制度及び専攻建築士制度の概要について講義した。

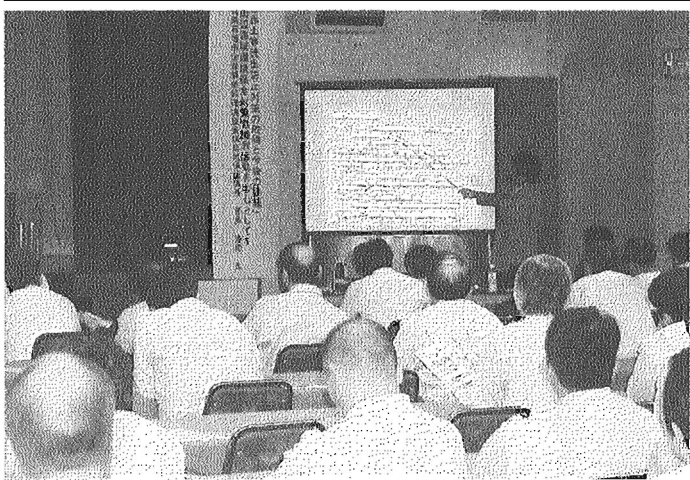
16年度赤土等流出防止対策技術講習会が17日、名瀬市の奄美観光ホテルであり、沖繩県石垣市企画開発部環境政策課の宮良芳和自然保護係長が

石垣島の取組等を紹介

赤土等流出防止対策技術講習会

「石垣島における赤土等流出防止対策の取組と今後の課題」について講演を行った。

講演では、宮良氏がスライドを使って石垣島における赤土等流出の現状や経緯、行政や市民の取組、石垣島周辺海域環境保全対策協議会活動の主な活動等についての報告を行った。氏は「同島は日本復帰後の土地改良開発事業の頃から環境破壊が叫ばれ出し、河川や海域への赤土流出ではさとうきび畑が最大の発生源となっており深刻な問題となっている」とした上で、小中学校児童らによる赤土調査・同発表会で現状認識を高めた、モデル展示圃設置で緑肥栽培やグリーンベルトを積極的に取り入れるよう呼び掛けるなどの協議会のこれまでの活動報告を行った。



講演を聴く出席者ら
＝名瀬市の奄美観光ホテルで

また標語・ポスターの募集、マスコミへの取材依頼等の啓発活動や独自の工夫で赤土流出防止を行っている農家を表彰するなどの取り組みを通して「全住民に力を合わせて

赤土を止めよう」という同一認識を持たせることが大事」と話した。今後の課題としては農家の可能な対策の構築となる指針づくりや意見交換会、活動の役割分担などを挙げ

た。なお、同講演会は18日午後1時30分から徳之島の生涯学習センター、19日午後3時から知名町の中央公民館で開く。

法について話し合われ、公平を期すという理由から最終的に抽選による選出となった。結果、離島を含む5人（男性4、女性1）の委員と補充5人を抽選で選出した。今後、5人には電話で確認後、文書で承諾をもらう。

マリンポートかごしま検討委 検討委員5人を選出



抽選を行う各委員ら
＝鹿児島市の県庁で

選考会場となった庁議室では、座長の脇田稔副知事や県幹部ら選考委員が出席。「諸外国の港に劣らない景観を持つ観光

この日はまず、選考方

県勢の浮揚発展を目的に県が鹿児島港中央港区に整備を進めている「マリンポートかごしま」（人工島）の1期2工区部分について、県民からの幅広い意見や提言を反映させる「マリンポートかごしま」の公募委員選考委員会」の公募委員選考委

員会が17日、鹿児島市鴨池新町の県庁内で開かれた。海洋都市になることを夢見ている「人工島の開発で錦江湾の自然を本当に守れるのか自分の目で確認したい」などの応募理由を寄せた17人が候補に上がった。

県建築士審査会は24日午後2時から、鹿児島市の県社会福祉センターで16年度第1回会合を開く。

24日に県建築士審査会

を建設する案件などが説明された。現地調査の結果、建築基準法第43条第1項ただし書きに基づく許可基準に適合し、交通上・安全上・防火上・衛生上、支障がないと認められるので、同項の規定により許可したいとし、慎重な審議の結果、全委員の同意を得た。また、その他の案件については非公開での審議となり、すべて同意された。



全国（県）建設コンサルタント業協会連絡協議会会長に就任した 小山

「このままではつづれる」という強烈な危機感が、初の地域建設コンサルタント団体設立へと突き動かした。

小事業者。受注は大手が約70%、中小は30%に過ぎない。

明解な現況説明は、愛いでもなければ嘆きでもない。厳しい現状を克服しなければなら

かお...人

初め地域コンサルの組織化は、否応なく、全国展開している大手

コンサルと対立の構図で見られてしまいがち。そんな周囲の見方を「建設コンサルタント協会に対抗することが目的ではない」とき

もともと、地域コンサルとしての独自性が発揮しづらい環境の中で、「地域の

「建設コンサルタント協会」の設立は、

「建設コンサルタント協会」の設立は、

「建設コンサルタント協会」の設立は、

「建設コンサルタント協会」の設立は、

「建設コンサルタント協会」の設立は、

「建設コンサルタント協会」の設立は、

「建設コンサルタント協会」の設立は、

「建設コンサルタント協会」の設立は、

「建設コンサルタント協会」の設立は、

「建設コンサルタント協会」の設立は、

「建設コンサルタント協会」の設立は、

「建設コンサルタント協会」の設立は、

「建設コンサルタント協会」の設立は、

「建設コンサルタント協会」の設立は、

慎重審議が行われた会合
＝鹿児島市の県社会福祉センターで

16年度第3回県建築審査会
18件すべて同意得る

県建築審査会は17日、鹿児島市の県社会福祉センターで16年度第3回の会合を開き、地方公共団体と個人・法人から出された接道義務特例許可に関する議案9件と報告9件などすべての案件について委員から同意を得た。

「建設コンサルタント協会」の設立は、